

課題解決型高度医療人材養成プログラム 取組の概要と推進委員会からの主なコメント

テーマ②：医療チームによる災害支援領域

		整理番号	5
申請担当大学名 (連携大学名)	東北大学 (福島県立医科大学) 計2大学		
事業名	コンダクター型災害保健医療人材の養成		
事業責任者	総合地域医療教育支援部教授 石井 正		
事業の概要			
<p>本事業は、東北大学（医・歯・災害研）及び福島県立医科大学（医）が共同で実施する。自然災害、CBRNE 災害、それらを合わせた複合災害に対応でき、様々な職種とチームとして協働でき、他組織と連携し、急性期から慢性期にかけて現場でも後方でも機能する「コンダクター型災害保健医療マネジメント人材」を養成する。医師、行政担当者含む災害医療関連他職種を対象とし、ICTにて広域で双方向の議論が可能な環境を担保しつつ、東日本大震災時に実働した両大学及び連携組織の長期間の災害対応経験、原子力災害対応経験、後方支援経験を基に教育コンテンツを構成し、これらの組織のコアメンバーを主な教育スタッフとして、総合的スキルを修得するための「災害マネジメントコース」を設置する。同コースを基盤研修とし、これに社会医学系専門医資格取得や学位取得可能なカリキュラムを付加したキャリア形成や研究推進可能な学習コースも併せて設置する。</p>			
推進委員会からの主なコメント ○：優れた点等、●：改善を要する点等			
<p>○東日本大震災や福島原発事故などの問題を、被災地の経験を生かした具体的例を踏まえつつ、CBRNE 災害にも視点を置いている点が評価できる。</p> <p>○災害医療分野の博士課程は少なく、社会のニーズに応えていると評価できる。</p> <p>○災害時に必要な医療職の養成において、どれだけ実践能力が身についたかは重要な要素であり、教育コースの内容に期待できる。</p> <p>●社会医学系専門研修コースとして、初期研修を終えた医師を対象にしているが、専門医制度が始まったことにより、受講者確保に不安が残る。</p> <p>●多種多様な教育プログラムにより、広く浅い教育となることが危惧されることから、実践力の伴った人材育成が望まれる。</p>			